

ドラッグインフォメーション

平成 26 年 3 月改訂

販売名	ブドウ糖「ヨシダ」	製造販売	吉田製薬株式会社	
局方名	日本薬局方 ブドウ糖			
洋名	Glucose	発売年月	1996 年 9 月	
一般名	ブドウ糖	薬価収載年月	1996 年 6 月	
剤形	散剤	薬価	10 g 12.30	健保適用
規制区分	普通薬 局方	日本標準商品分類番号	873231	
厚生労働省薬価基準収載医薬品コード	3231001X1175	YJコード	3231001X1175	

禁忌（次の患者には使用しないこと）

ブドウ糖吸収不良の患者[激しい下痢、脱水等をおこすおそれがある。]

組成
・
性状

1. 組成

本剤を乾燥したものは、ブドウ糖（ $C_6H_{12}O_6$ ）99.5%以上を含む。

2. 製品の性状

本剤は白色の結晶又は結晶性の粉末で、においはなく、味は甘い。

本品は水に溶けやすく、エタノールに溶けにくく、エーテルにほとんど溶けない。

効能・効果

（経口）

経口的栄養補給、ブドウ糖負荷試験

用法・用量

（経口）

経口的栄養補給には、必要量を粉末あるいは水溶液として経口投与する。

ブドウ糖負荷試験には、通常成人 1 回ブドウ糖として 50～100g を経口投与する。なお、年齢・体重により適宜増減する。

使用上の注意

1. 慎重投与（次の患者には慎重に投与すること）

（1）カリウム欠乏傾向のある患者[ブドウ糖の投与によりカリウムが細胞内に移行し、一時的に血清カリウム値が低下し、症状が悪化するおそれがある。]

（2）糖尿病の患者[高血糖を生じ、症状が悪化するおそれがある。]

2. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

種類 / 頻度	頻度不明
消化器	大量投与するとき悪心・嘔吐、下痢、腹痛 ^{注)}

注) 慎重に投与すること

3. 高齢者への投与

一般に高齢者では生理機能が低下しているので減量するなど注意すること。

薬効薬理

経口投与されたブドウ糖は胃腸管から速やかに吸収されて血液中に入り、体内でエネルギー源となり代謝される。また、肝、心筋グリコーゲン量を高め、あるいは全身の細胞機能を亢進し生体代謝を増し、また解毒効果を示す。

備考

貯法 : 気密容器

包装単位 : 500g

文献

請求先

吉田製薬株式会社 学術部

東京都中野区中央 5-1-10